

第16号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所  
 霊 亀 山 九 島 禪 院  
 550 大阪市西区本田3丁目4-18  
 06-583-2725  
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)

# アルツハイマー病を

## 告白できますか

先だって、生き方を考えさせ  
 る二つの話題がアメリカであり  
 ました。

一つは、レーガン元米国大統  
 領が米国民に「自らが、アル  
 ツハイマー病の初期段階に入っ  
 た」ことを公表したことです。

アルツハイマー病は進行性の  
 脳疾患で、俗に痴呆症とよば  
 れる病気で、脳組織に回復不  
 能な破壊が起き、病気の進行に  
 より、記憶力の減退、判断力の  
 欠如、方向性欠如から最後には  
 人格の喪失まで進むおぞましい  
 病気です。

大統領は、病気を伏せるか、  
 公表するかで、ナンシー夫人と  
 話し合い、アルツハイマーへの  
 関心を高め、そうした人達への  
 理解を深めるためにも、前回お  
 こなった癌のときのように、公  
 表に踏み切ったという事です  
 いま一つは、プロボクシング  
 世界ヘビー級タイトルマッチに  
 挑戦したジョージ・フォアマン  
 選手が、二十年ぶりに、四十五  
 歳九カ月という史上最年長で世

界チャンピオンに返り咲いたこ  
 とです。

フォアマン選手は、一九七三  
 年に世界王者となりましたが、  
 翌年ムハメッド・アリ選手に敗  
 れるなどして、いったんはボク  
 シング界を去り伝道師になった  
 そうです。

「少年たちを助けるためのユ  
 ースセンターの資金を、自分の  
 出来るボクシングで稼ぐ」ため  
 に、三十九歳でカムバック。高  
 齢を理由に試合を許可しないW  
 BA(ボクシング連盟)に対し  
 法廷闘争の末に勝ち取った挑戦  
 でした。

勝利の瞬間、同選手はリング  
 にひざまづき神に感謝し「施設  
 の少年たちのことが頭に浮かび  
 誰だって夢を持ち続けられれば勝て  
 る」と語ったそうです。

両者に共通して言えることは  
 「病に倒れ、歳を重ねることは  
 恥ずかしいことではない」共に  
 勇気をもって、「今を生きる」  
 ことだといえます。私  
 たちの前にあるのは、ただ



「今」だけなのです。過ぎ去っ  
 た時は再び還らず、まだ来らぬ  
 未来もあてになるものでもあり  
 ません。この世でもっとも確実  
 なのは「いまここ」だけなので  
 す。この「いまここ」に生命を  
 完全燃焼させることが真実の生  
 き方なのです。

お釈迦さまは、仏典のなかで  
 次のようなことを残しておら  
 れます。

「過去を追うな／未来を願う  
 な／過去はすでに捨てられた／  
 そして未来はまだやってこない  
 だから現在のことがらを／それ  
 があるところにおいて観察し／  
 ゆらぐことなく動ずることなく  
 よく見きわめて実践せよ／ただ  
 今日すべきことを熱心になせ／  
 誰か明日の死のあることを知ら  
 ん」

レーガン元大統領・フォアマ  
 ン選手、ふたりはまさに「観面  
 (てきめん)の今」——目前の  
 一刻一刻——を精一杯生きてい  
 る人達なのです。

# 第一回修養会ご報告

## 楽しい一日でした

さる十月十六日(日)、第一回九島院修養会が催されました。

当会は、当院檀信徒各位相互の親睦交流を深めることを主目的とし、年一回継続的に実施していく予定です。

当日は、雲一つない秋晴れのもと、仏壇の浜屋旅行部の池永さんの添乗で総員四十五名、のんびりとした一日を過ごせました。

平等院参拝のあと、昼前に黄檗山萬福寺に到着、総門前にお塔頭萬松院を訪ねました。萬松院には、寛文十年八月二十三日に当院にて水定入寂されたご開山龍溪禪師の眞骨を納めた靈廟(天光塔)があります。

同所で、萬松院ご住職奥田仁芳老師に導師をお願いし、ご開山のご供養と併せて、参加者一同のご先祖のご回向を勤めました。龍溪禪師もきっと、水定の地よりの団体参拝にお喜びのことだと思えます。尚、先代弘志和尚は萬松院第二十七代住職を勤められました。

お昼は、二軒となりの塔頭宝善院で普茶料理に舌鼓を打ちました。普茶料理は、隠元禪師によって伝えられた中国風の精進料理ですが、珍しい手の凝った料理に一同感心されていきました。料理の後、仁芳老師よりの法話に耳を傾けました。

いよいよ、本日の目玉である黄檗山中国祭の見物です。黄檗山萬福寺は中国式寺院であることから、華僑の方々の信仰を集めています。毎年十月中旬には、普度勝会という純中国式のお施餓鬼法要が行われていきます。

大雄宝殿(本堂)前には、三十六軒堂とよばれる、三十六の華やかな仮想冥界の屋台(紙と竹で作られた小さな家)が並び、飾りつけやお供えも純中国式で中国線香の煙が立ち込め、参詣の華僑の人達で賑わっていました。堂内ご本尊前には壇が組まれ、奉納される龍踊りと蛇踊りの音がドラやカネが賑やかに打ち鳴らされ響いています。何事も中国式で、踊りの奉納の時刻も



天光塔(龍溪禪師靈廟)前にて撮影

だんだん伸び、本番を後ろ背に駐車場へむかいました。伏見大倉酒造記念館です。月桂冠で有名なこの造り酒屋には伏見という地名の由来(伏水一ふしみ)の名水に、一同の産を潤し、記念のお酒をお土産に、帰阪しました。

以上、今回のご報告をさせていただきます。是非、来年の修養会にご参加下さい。ああと七年すれば、当院ご開

山龍溪禪師の三百年大遠忌がめぐってきます。黄檗宗は龍溪禪師の動きなくしては開宗できませんでした。大本山萬福寺でも遠忌法要が厳修されますが、禪師ゆかりのお寺であります当院では、記念事業として禪師のご遺徳顕彰ビデオ映画を計画しております。当修養会では、当面、龍溪禪師のご事跡を訪ね、ご遺徳をお偲びしたいと考えています。

年 忌 に つ い て

来年分の年忌表をかかげます。一周忌とか三回忌の仏さまは亡くなって間がないので、皆さまの方がよくご存知のことと申しますが古い仏さまの場合、今年あたり多分年忌にあたるのではとのお問い合わせがあります。

当院の住職が葬儀を執行致しました場合はすべて当院の過去帳に記入しており、年末に調査してお知らせ致しますが、当院が把握していない場合もありますので、ご注意下さい。なお、二十三回忌・二十七回忌、三十七回忌・四十三回忌・四十七回忌などは、禅宗や当地域にては執行致しません。ご了承下さい。

年忌法要の日取りは、故人の祥月命日にされるのが、一番よいのですが、参詣者都合もあり、命日前の土曜・祝日曜にされる場合が多く、他家と重なる場合もあり、遅くとも1カ月以上前ぐらいには、当院まで日取りと場所等のご連絡を頂きますようお願い致します。尚、本堂や龍燈会館でも、ご法事ができます。お問い合わせ下さい。

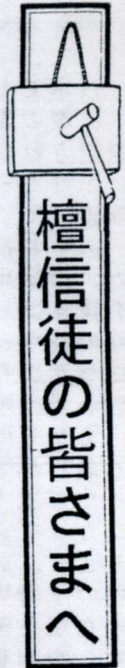
年 忌 表 (平成7年)

回 忌	死 亡 年
1 周 忌	平成 6 年
3 回 忌	平成 5 年
7 回 忌	平成 1 年
1 3 回 忌	昭和 5 8 年
1 7 回 忌	昭和 5 4 年
2 5 回 忌	昭和 4 6 年
3 3 回 忌	昭和 3 8 年
5 0 回 忌	昭和 2 1 年

○観音池改修工事(来春に)

観音像前の池が、水漏れして改修工事に着手することになり

ました。平成三年六月に完工したものです。造園業者の池工事は、施工が雑で、風呂屋の浴槽のように鉄筋をいれてコンクリートを打つ必



ケーブルカーで結婚式 神戸

要があるそうです。地盤が悪く、その下に無縁基礎も埋めている状況では、なおさら頑丈な構造が要求されるとの事でした。応急修理をしましたが、万全を期して改修工事に着手することにしました。鯉を移すのに適した五月がよいとのことで、本格的な工事は来年の五月に着手いたします。

十月二十八日、弘忠和尚の孫が、六甲ケーブルで結婚式を挙げました。新郎は、当院の古くからの檀家さんには馴染みがある伊丹の常休寺の若和尚で普喜正隆くん(二十四)です。六甲山上のホテルが創業六十年を記念し企画したものです。当日は、在阪のテレビ局や新聞社が多数取材に訪れ、ニュース報道には、小柄夫婦も大写しました。

同ケーブルは開業以来、一度も事故もなく、初めての試みだそう、晴れの二人はゴトゴト揺れる車内で結婚指輪を交換しました。人生という坂道を歩みだした二人が幸せでありますように祈ります。

### ● お仏壇は一家の中心

日本でも有数のある仏壇屋の社長がローマ法王庁へ仏壇の売り込みに行ったそうです。残念ながら、採用されなかったそうですが、仏壇は日本人の生活にとけこみ、嬉しいこと、悲しいこと、日々家族をみ護ってくれています。

あるお檀家さんの家では、小納がお月参りに伺うと、冷蔵庫からよく冷えた缶ビールを取り出し、栓を抜きコップに入れてお供えされます。夏場のお参りの時など、玉の汗をかいたコップを見ての読経はいつもより長く感じられ、「おいしそうだなあ」と思わず生唾を押し殺してしまいます。

またそのお向かいの家では、ワンカップ大関（日本酒）が欠かさず供えてあります。両家とも亡くなったご主人が大のお酒好きだったそうです。このワンカップ大関、瓶のラベルの裏に写真が印刷してあります。いまは駅シリーズのようですが、以前は女性の水着姿でした。瓶が後ろ返っている時など、透明な瓶を通して美しい女性が写り、お経の「色即是空 空即是色」のところでは、思わず大きな声になってしまいます。

両家のように、仏壇は家の中心でした。嬉しいこと悲しいことがあれば、すぐにお仏壇のなかのご先祖に報告したものです。いつも私たち子孫が幸福になることを願って下さるご先祖さまに、感謝の心で手を合わせることこそ人間として大事なことです。

仏壇が一家の中心となつて、ご近所からいただいた珍しい一品でもまずお仏壇にお供えしてからというような家庭なら、近頃新聞を賑わせるような問題も起こらないことだと思います。



お知らせ

#### ◎ のぼり奉納の募集

境内の「南無観世音菩薩のぼり」が色あせてきましたので、今春新調します。お施主さんを募ります。為書きと施主名を墨書します。ご希望の方は寺務所まで、お声をかけてください。

一枚 金一千元

### 編集後記

▼あのレーガン大統領もアルツハイマー病になったとの報道には驚きました  
▼先代弘忠和尚も、同じ病気ですが、発病してから、はや七年になろうとしています。  
▼何も判らなくなるまでの、和尚の苦しみは大変なものでした。現在は自分が病気だとの認識もなくなり、おだやかに暮らしております。

▼老いれば、誰もが直面する可能性もっています。お釈迦さまも「生・老・病・死」を四苦といつて、思うようにならないと説いておられます。  
▼あきらめるしかないのです。今を大切に生きるしかないのです。  
▼十一月、黄檗山萬福寺第五十九代管長林文照老師の晋山式が挙行され、小納も加担しました。京都各寺院の来賓など二千人の参詣者で賑わいました。  
▼昨年の当院での晋山式を思い出し、初心にかえり精進を誓いました。

ご案内

### 会 禅 統 宗 通 円

毎月 17日 午後 6時半～8時半

場所 当院本堂と坐禅堂  
坐禅指導 黄檗山萬松院奥田仁芳老師  
提唱 龍溪禪師「宗統録」